



悠久のロマン 天空を奏でるin岡垣



プロもアマも老若男女がひとつになって

—岡垣国際交流協会 国際音楽祭—

6月7日、岡垣サンリーアイで岡垣国際交流協会主催の国際音楽祭が催されました。午後1時の開場前から受付にはすでに大勢の来場者が並びました。国際音楽祭は3部構成でアジア音楽を中心に行われ、メインゲストとして天平楽府で有名な劉宏軍さんが出演。シルクロードを経て伝来した古代管楽器の排簫などの笛の演奏は、天平の息吹を感じられるものでした。また、ネパール出身のサワンさんは、めずらしいシタールという楽器を演奏。韓国出身の金さんはカヤグムをしっかりと弾いてくださいました。

第1部は、受講生の発表などで大いに賑わい、第2部では、招聘先の中国や韓国、フィリピンの伝統的な楽器や歌などを披露していただきました。

同日ギャラリーでは、シルクロード伝来古代楽器の展示も行われ、中国泗水県の石を使って作られた編磬や古代琵琶、韓国楽器、内モンゴル自治区の太鼓などを展示しました。

老若男女100人を超える出演者、会場を訪れた580人は皆さん笑顔で3時間半の国際音楽祭を楽しみました。



編集後記

▼今回の特集の記事を編集しながら、自転車の正しい乗り方について、自分自身もとても勉強になりました。私は、役場で取り組んでいる月に1度のエコデーに自転車で通勤しているのですが、今後は、正しい自転車の乗り方を心掛けながら通勤したいと思います。夏場の自転車通勤はつらそうですが…。(篠原)

▼暑い季節がやってきました。皆さんは海水浴やプール、旅行など夏の計画はもう立てましたか。波津海水浴場では海水浴はもちろんです。さまざまなイベントやイルミネーションも行っているのです。日ごろの疲れを癒やし、楽しい思い出をつくってください。室内でも屋外でも熱中症には注意してくださいね。(三藤)